

Vol.6

図書館だより

公立大学
法人 山梨県立大学



CONTENTS

「マルチメディア時代の図書館に期待すること」	2
ライブラリースタッフ活動開始	3
新たなとりくみ	4~5
ニーズアンケートから見えてくる私たちの図書館	6~7
図書館通信 / 編集後記	8





「マルチメディア時代の図書館に期待すること」

学長
伊藤
洋

グーテンベルク（1398年？—1468年）が印刷機を発明したのがいつの事かははっきりしない。通説では1445年ごろという。

「必要は発明の母」とはいうが、現実はその逆、多くの場合「発明が必要の母」である。おそらく印刷機を「発明」したグーテンベルクは何を印刷すべきか苦しんだに違いない。大量に同じ書物が印刷できるということは、多くの読者がいて初めて可能である。識字率が低く、読書習慣の皆無の時代に何を出版すれば売れるか、なかなか見当がつかなかったに違いない。

グーテンベルクは、知人から資金を集めてラテン語の「聖書」を印刷することにした。バイブルは、今でも世界で最大のベストセラー本である。彼の判断は当たった。

こうして多くの人々の手に渡ったラテン語聖書は、そこに書かれている崇高さと、堕落した教会の落差を見せつけることになった。その結果、あちこちで「聖書に帰れ」を合言葉に宗教改革の炎が巻き起こることとなる。

宗教改革によって目覚めた大衆は、「我思うゆえに我あり」、思索する自己を発見し、「科学」を確立し、印刷機が吐き出す大量の「百科全書」に鼓舞されて、神なき近代を樹立していくこととなった。グーテンベルクが企図したラテン語聖書は、敬虔なるキリスト教信者を増やすのではなく、人間の「復興」に奏功したのである。

昨今、相次いで読書端末が売り出された。見れば、ドキュメントのみならず映像、動画、音楽、ゲーム、メールやブラウザなどの通信機能までが付いたマルチメディア端末である。大英図書館は稀覯書を中心にCambridge Library Collectionを、わが国会図書館は近代デジタルライブラリーを発刊し始めた。これらの動きは、グーテンベルクの聖書が「神からの逃走」を促したように、読書界に革命を惹起することだろう。大学図書館がこれらのトレンドにどう対処していくか、そろそろ本気で議論を始める時が来た。

県大図書館スタッフ



活動内容は大きく分けるとイベントや展示などを行う活性化、業務に携わることにより図書館利用状況や図書館自体を知るための業務補助、図書館を新入生に紹介する図書館ツアーの3種類があります。活性化チームでは利用者の視点と図書館側の視点で話し合い、より良い図書館を目指して活動しています。今年度は展示や季節の行事としての七タイイベント、学園祭での図書館PRイベント等を実施しています。

ライブラリースタッフ

活動 開始

ライブラリースタッフとは、学生の視点を取り入れた大学図書館の活性化を目的として発足した学生組織です。平成22年の1月下旬より募集を行い、両キャンパス合わせて22名が今年度のスタッフとして活動しています。

看護図書館スタッフ



業務補助では図書館の状況や利用の現状について理解を深めることを目的の1つとし、本の整理やカウンターでの貸出返却業務など実際の仕事を行っています。

図書館ツアーは例年図書館職員が行っていましたが、今年度は利用者の視点に立ってスタッフが新たに検討し、実施しました。

来年度以降も今年度に更にプラスして充実した活動を行い、親しみやすく、利用し易い図書館に近づけるように頑張っていきたいと思います。

業務補助



七イベント



図書館ツアーアー



飯田キャンパスの図書館では、17名のスタッフでより利用しやすく、親しみやすい図書館を目指してさまざまな活動を行っています。

スタッフよりひとこと



ライブラリースタッフ：リーダー

国際コミュニケーション学科：佐藤 拓哉

LS（ライブラリースタッフ）の活動として、季節や行事に合わせた本・雑誌・視聴覚資料の展示、七夕や文化祭でのイベント等を行い、図書館の活性化を図っています。その結果、利用率が低かった資料の貸出数が増加するなどの成果が得られました。そういったLSの活動が、今年度の来館者数増に貢献できたのではないかと思います。今後の活動としては、より多くの方に図書館を利用して頂くための環境作りを進めたいと考えています。

新たなる

親しみ
図書
めざ

ライブラリースタッフ：留学生

国際コミュニケーション学科：楊 麗

皆さんこんにちは。私は中国北京聯合大学から来ました山梨県立大学三年の交換留学生の楊麗です。2010年2月から県大ライブラリースタッフ（LS）になりました。光陰矢の如し、半年のLSがもうすぐ終わります。今までの活性化の活動でも、図書館ツアーの活動でも、日常的な業務補助でも、図書館内部のことをよく学んだだけでなく、仕事から得た日本の社会体験も極めて貴重な経験だと思います。

最初に、配架は私にとって一番大変な仕事でしたが、徐々に「アイウエオ」順をよく知って、請求番号の配列も十分に詳しく分かりましたので、以前は一時間もかかっていた仕事は、今なら、20分しかかかりません。これは、絶対に図書館職員達とLSに助けられたからです。来月（平成22年9月）に帰国しますが、北京に戻っても、日本のことToOne忘れないと思います。




コーナー in 池田キャンパス

「生きる」コーナー

昨年から少しずつ準備をはじめてきた新コーナーです。このコーナーには心からだにさまざまな障害を持つ人たち、そして、その人たちを支える家族や専門家など、障害とたたかい、生きることと向き合った人たちからのメッセージを集めました。闘病記のほか、老いや障害、自死、さらに出産などに関する手記など、“生きる”ことの意味を教えてくれるコーナーとなっています。



このコーナーの本を読むことでいつか患者さんやその家族の気持ちを理解できればという期待から、寝る前の読書に利用しています。闘病記といつても患者自身が書いたものだけでなく家族や医療者目線のものがあり、面白くまた勉強になります。中にはマンガ調のものやページ数の少ない本もあり読みやすくおススメです。たとえ厚さが薄く、字の大きな本でも中身は濃いものばかりですよ。ぜひ読んでみてください。

A : 3 看護学部1年

土屋 夏美

授業の課題で文献を探すまでこのコーナーの存在を知りませんでした。このコーナーには様々な闘病記がある上、疾患別に並べられていてとても見やすくなっています。患者さんの心の部分を学ぶにはとても役立つコーナーです。

A : 1

看護学部3年生

とりくみ

やすい
館を
して

休憩スペース

勉強に疲れたら…、先生にちょっと相談…、待ち合わせに…、そんな空間をつくりました。テーブルとイスの高さのアンマッチ！誤算でした。でも、それはそれで…

私たちは、休憩スペースを勉強の合間の息抜きや土曜日の昼食時に利用しています。日あたりが良く、明るい空間なので友人との話も弾みます。休憩スペースが設置されたことで、図書館がさらに利用しやすくなりました。希望としては、日除けが欲しいです。また、自動販売機があるともっと利用しやすくなると思います。

A : 1, 2, 3 土曜日の昼食で利用

看護学部4年生



Q : どんな時に利用しましたか？

- 1 授業の課題
- 2 実習で患者さんの理解のため
- 3 個人の読書
- 4 その他

– 利用者から
ひとこと –

資料を探しに図書館へ向かうと、柔らかな日差しのさしさむ休憩スペースで学生に出会います。時には突然呼びとめられて試験間際の質問攻めにあうこと。夜間には食堂やロッカーも閉まっているので、学生にとってなくてはならない場になっているのでしょう。学生が“たまる”場がファミレスでなく図書館であることをとてもうれしく感じています。学内にこういった“たまり”がどんどん増えていってほしいと思います。

A : 1, 4 看護関連科学 本間 隆之先生

Q : どんな時に利用しましたか？

- 1 休憩
- 2 軽食を取るため
- 3 友人同士でおしゃべり
- 4 先生とコミュニケーション
- 5 その他

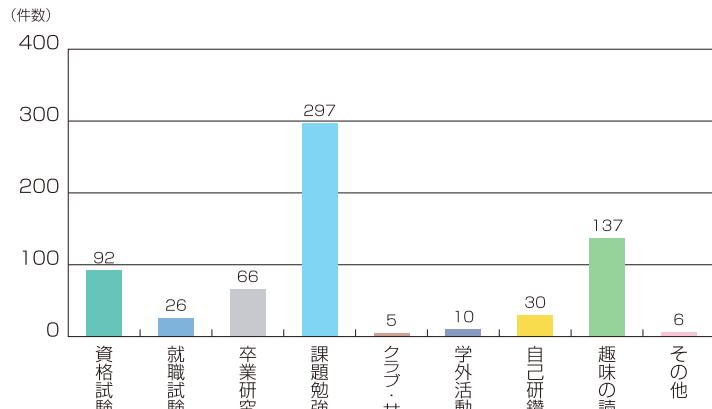


ニーズアンケートから 見えてくる

県立大学図書館（飯田キャンパス）では現在の図書館利用の実態を把握し、今後の運営の参考にするため、平成21年10月13日～30日に「図書館利用に関する調査」を実施しました。2週間で413人の方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。調査結果の一部についてここで紹介します。

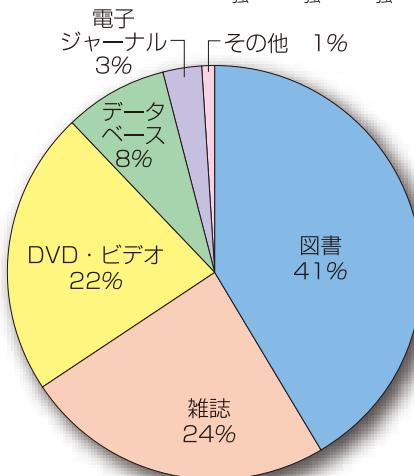
① 利用目的

課題のための勉強に利用する学生が目立つて多くなっています。また、勉強や研究以外の趣味の読書のための利用者も比較的多いようです。



② 資料について

図書館に備えてある資料については、図書を増やしてほしいという意見が最も多く、次いで雑誌やDVD・ビデオを増やしてほしいという意見が同程度に多くみられました。電子ジャーナル、データベースの希望が少ないのは、学生の皆さんの認知度が低いためかもしれません。



データベースとは

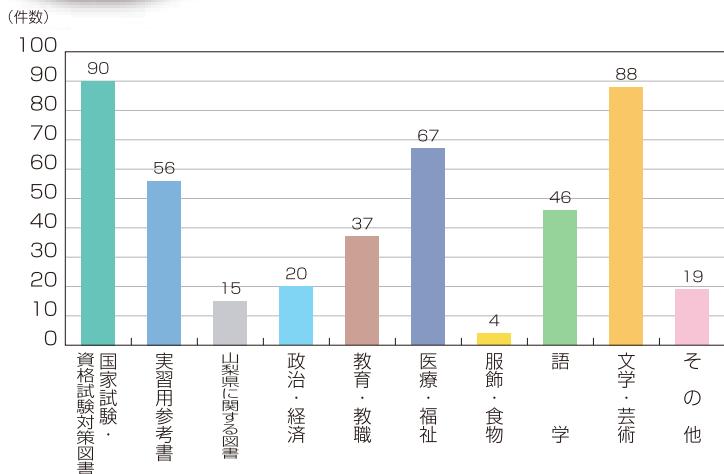
雑誌記事や論文、本の情報等をまとめて検索、参照できるシステムです。

電子ジャーナルとは

電子ジャーナルとは、デジタル化され、インターネット上で提供されている学術雑誌です。

③ 図書のジャンル

増やしてほしい図書のジャンルとしては、試験対策や学科に即したものが多く上げされました。その一方で、文学・芸術の分野を望むものも多くみられました。



これらのアンケート結果から、国家試験や資格試験等の対策、課題等の学習する場としての図書館利用と並行して、娯楽・教養としての読書のために図書館を利用したいという要望も多くあることがわかります。学術書や試験対策図書以外の分野についても、利用者のみなさんからいただいた希望等により図書を購入しています。勉強に、そして一休みのための読書や雑誌・新聞を読みに、図書館を大いに利用してください。

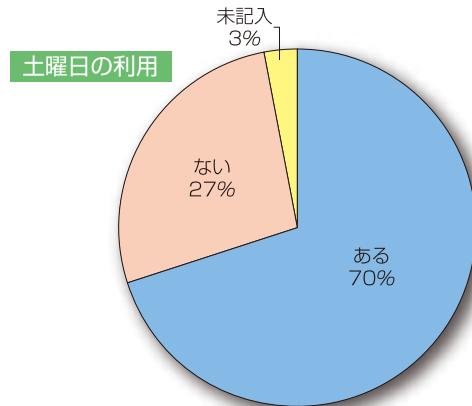
私たちの図書館

看護図書館は平成20年度から利用者の要望に応え、土曜日開館の実施と平日のカウンター業務の延長を行いました。土曜日開館を開始して2年目となる平成21年度に行った図書館利用ニーズ調査の結果から見えてくる、その利用動向に焦点をあててみました。

調査は平成21年10月1日から11月28日（学内者は16日）まで行い、学外（59人）、学内（275人）あわせて334人から回答を得ました。

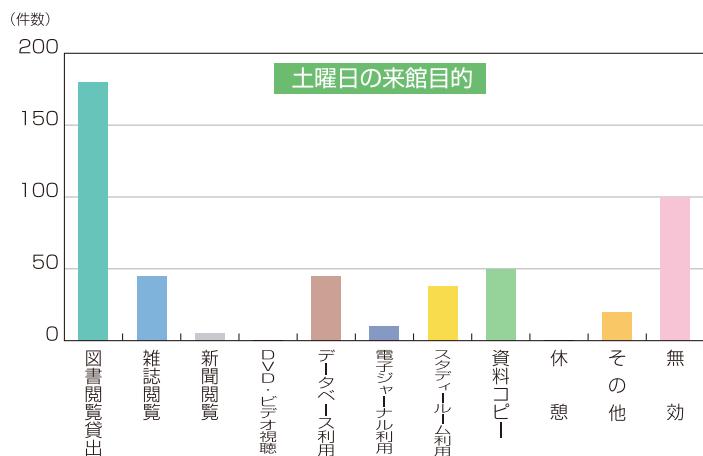
土曜日の利用状況

平成20年度、21年度ともに土曜日の開館については、回答者の9割が「知っている」と答えていて、学内、学外ともによく周知されていることが窺えます。その利用についても土曜日に利用したことがある人は、平成21年度は70%となり、前年の57.3%からさらに利用が増加してきています。



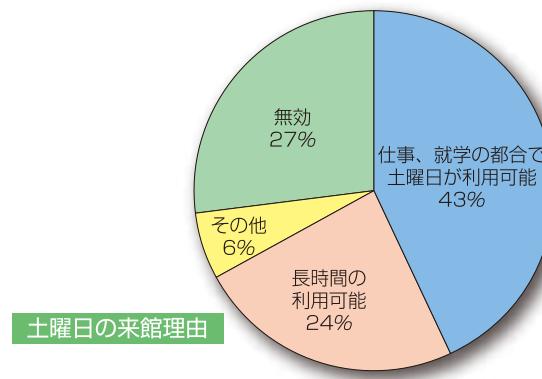
土曜日の利用目的

土曜日の利用目的について複数回答を可として答えてもらったところ「図書閲覧貸出」が最も多く、次いで「雑誌の閲覧」や「データベース利用」「資料コピー」なども多くなりました。前年では「課題解決のため」という回答が最も多かったのですが、選択肢をさらに細かい項目にしたことで、課題解決のために図書館に備えている雑誌やデータベースなどが大いに利用されていることがわかりました。



土曜日の来館理由

土曜日に利用する理由について、その回答結果をみると仕事や就学のため土曜日以外の利用は難しいという人、また、長時間利用したいという人のために土曜日の開館が大いに役立っていることがわかります。



土曜日に図書館を利用する学生数が多くなり、なかには毎週利用している常連もいて学生の学習支援のための環境づくりとして土曜日開館の効果は上がっています。また、学外の方々にも利用が次第に広がりつつあり、看護図書館が地域へ果たす役割を着実に実践できている状況がみえます。

利用が増加してくるとともに、土曜日のさらなる開館時間延長を望む声がありますが、セキュリティ面での課題が残っているのが現状です。

ここでは、各図書館でみなさんにお知らせしたい図書館のコーナーや資料のほか、図書館でおきた出来事などを紹介します。

県立大学図書館



展示入替の作業風景

さらに
利用しやす
くなりました

県大図書館ではライブラリースタッフも加わり、利用者のみなさんの視点に立って分かりやすく、利用しやすい、充実した図書館を目指して頑張っています。今年度はDVDの案内表示を新しくしたり、季節や時事に合わせた展示を行ったりと一層充実したサービスを行うことができました。これからもみなさんのご意見等をいただきながら活動を広げていきたいと思います。また、色々なイベントも企画していきますので興味がありましたら参加をしてみて下さいね。

今年度の図書館では、念願であったパソコンとプリンターが新しくなりました。さらに館内貸出用のノートパソコンも整備され、みんなの学習への利用、また文献検索講習での活用が可能になりました。是非、ご利用下さい。その他、新着図書の紹介や案内ポスターの作成など図書館情報を発信する企画も検討中です。こちらもお楽しみに！

県立大学看護図書館

電子ジャーナル
が増えました

昨年度、12タイトルの電子ジャーナルを導入しましたが、今年度はさらに95タイトル増え、107タイトルの電子ジャーナルを読むことができるようになりました。看護図書館のホームページのコンテンツから「電子ジャーナル」を開いてください。ScienceDirectのURLが表示されます。詳しい利用方法は職員にお尋ねください。



“生きる”コーナー
をご利用ください

絵本の場所が
変わりました

これまで、それぞれの分野の棚に配架されていた絵本を、閲覧室南側の大型本書架絵本コーナーにまとめました。からだのしづみなどの医学系の絵本、また福祉の絵本はこのコーナーにあります。

新書・選書も
移動しました

レポートなどによく利用されている新書や選書ですが、閲覧室の奥まったところで目立ちませんでした。この夏休み中に閲覧室の明るい場所に引っ越ししました。これからもどうぞ引き続きご利用ください。きっと、課題解決のお役にたつことでしょう。

編集後記

YONZYA第6号ができました。是非読んでください。
(ワ)
公立大学法人図書館として出発しました。今後もよろしくお願いします。
(マ)
看護図書館の休憩スペースと新コーナーには是非どうぞ。
(モ)
ライブラリー・スタッフに気軽に声をかけてください。
(ゴ)
キャンパスキャラクター「やまちゃん」の図書館バージョン、
かわいがってください。
(ヒ)
図書館のニーズアンケート調査です。ご意見お寄せください。
(イ)
地域に密着した図書館をめざします。よろしくお願いします。
(ト)

YONZYA (よんじゅー) vol.6 2010年12月1日発行
発行
山梨県立大学図書館
甲府市飯田5-11-1 TEL : 055-224-5340
E-mail : lib@yamanashi-ken.ac.jp
山梨県立大学看護図書館
甲府市池田1-6-1 TEL : 055-253-9429
E-mail : toshokan@yamanashi-ken.ac.jp